

平成 30 年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 30 年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2019 年 6 月 7 日(金)にホテルラングウッドにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 14 名、委託関係者 39 名

ほか、計 62 名の参集を得て、除草剤 12 薬剤 (59 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成 30 年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. BEH-1301 フロアブル フルフェナセット:42.4% [バイエルクロップサイエンス]	コウライシバ	適用性の検討 (発生初期/一年生雑草/コウライシバ)	実・継	実) [秋冬作:(コウライシバ, ノシバ)一年生雑草] ・芝生育期, 雑草発生初期 ・0.15~0.2mL<200~300mL>/m ² ・土壌処理(全面) 継) ・薬量0.15~0.2mL, 水量100mL/m ² での効果・薬害の確認(コウライシバ, ノシバ) ・倍量薬害試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・連用試験の確認(コウライシバ, ノシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・緑化木への影響の確認
	ノシバ	適用性の検討 (発生初期/一年生雑草/ノシバ)		
2. BEH-1887顆粒水和 既知化合物:24.0% 新規化合物:17.5% [バイエル クロップサイエンス]	コウライシバ	適用性の検討 (芝生育休止期/一年生雑草/コウライシバ)	継	継) ・効果薬害の確認(コウライシバ, ノシバ)
	ノシバ	適用性の検討 (芝生育休止期/一年生雑草/ノシバ)		
3. GG-152 微粒 グリホサートイソプロピルア ミン塩:3.0% フルミオキサジン:0.1% [保土谷アグロテック]	コウライシバ	適用性の検討 (コウライシバ生育休止期, 雑草生育期/一年生雑草, 多年生広葉雑草)	継	継) ・効果薬害の確認(コウライシバ)
4. HAT-611 粒 メコプロップPカリウム塩:1.0% DBN:1.0% [保土谷アグロテック]	ノシバ	適用性の検討 (発生前/一年生雑草/ノシバ)	継	継) ・効果薬害の確認(コウライシバ, ノシバ)
	ノシバ	適用性の検討(発生初期/一年生雑草, 多年生広葉雑草/ノシバ)		
5. HAT-811 粒 ジメテナミTP:0.5% DBN:1.0% [保土谷アグロテック]	コウライシバ	適用性の検討 (発生前/一年生雑草/コウライシバ)	継	継) ・効果薬害の確認(コウライシバ)
	コウライシバ	適用性の検討(発生初期/一年生雑草, 多年生広葉雑草/コウライシバ)		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
6. MBH-146 顆粒水和 オキサジクロメホン:48% [丸和バイオケミカル]	バーミューダグラス	適用性の検討 (雑草発生前/一年生イネ科雑草/バーミューダグラス)	実・継 (従来どおり)	実) [秋冬作:(コウライシバ, ノシバ)一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期, 雑草発生前 ・ 0.075~0.125g<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理(全面) 継) ・ 効果葉害の確認(バーミューダグラス) ・ 倍量葉害試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 連用試験の確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 実証試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 緑化木への影響の確認
7. NC-319 顆粒水和 ハロスルフロメチル:75% [日産化学]	コウライシバ	適用性の検討 (ヒメクグ生育期/コウライシバ)	実・継 (従来どおり)	実) [秋冬作:(コウライシバ, ノシバ, ベントグラス, ブルーグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期, 雑草発生前~発生初期 ・ 0.03~0.05g<200~300mL>/m ² ・ 茎葉処理(全面) 継) ・ 実証試験での確認(コウライシバ, ノシバ, ベントグラス, ブルーグラス) ・ 芝生育期, ヒメクグ生育期処理での効果, 葉害の確認(コウライシバ, ノシバ)
	ノシバ	適用性の検討 (ヒメクグ生育期/ノシバ)		
8. RGH-1302 SC ピロキサスルホン:36.3% [理研グリーン]	コウライシバ	低薬量拡大 (発生初期/一年生イネ科雑草/コウライシバ)	実・継	実) [秋冬作:(コウライシバ, ノシバ)一年生雑草] ・ 芝生育期, 雑草発生前~発生初期 ・ 0.1~0.2mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理(全面) [秋冬作:(コウライシバ, ノシバ)一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期, 雑草発生初期 ・ 0.08~0.1mL<200~300mL>/m ² ・ 土壌処理(全面) 継) ・ 雑草発生初期処理での一年生イネ科雑草に対する薬量0.08~0.1mL<200~300mL>/m ² での効果, 葉害について年次変動の確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 倍量葉害試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 連用試験の確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 実証試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 緑化木への影響の確認
	ノシバ	低薬量拡大 (発生初期/一年生イネ科雑草/ノシバ)		
9. RGH-1822 SC 既知化合物A:10.6% 既知化合物B:28.1% (w/v) [理研グリーン]	コウライシバ	適用性の検討 (発生初期/一年生イネ科雑草/コウライシバ)	継	継) ・ 効果葉害の確認(コウライシバ, ノシバ)
	ノシバ	適用性の検討 (発生初期/一年生イネ科雑草/ノシバ)		
10. RGH-1831 SC 既知化合物A:31.9% 既知化合物B:28.1% (w/v) [理研グリーン]	コウライシバ	適用性の検討 (発生初期/一年生イネ科雑草/コウライシバ)	継	継) ・ 効果葉害の確認(コウライシバ, ノシバ)
	ノシバ	適用性の検討 (発生初期/一年生イネ科雑草/ノシバ)		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
11. SB-201 乳 メチオゾリン:25% [エス・ディー・エス バイオテック]	コウライシバ	水量拡大 (雑草発生前/一年生イネ科/コウライシバ)	実・継	<p>実) [秋冬作; (コウライシバ) スズメノカタビラ]</p> <p>単用処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3~0.4mL<200~600mL>/m² ・ 土壌処理(全面) <p>反復処理(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2mL<200~600mL>/m² (散布間隔は1ヶ月を目安とする) ・ 土壌処理(全面) <p>[秋冬作; (ケンタッキーブルーグラス) スズメノカタビラ]</p> <p>単用処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.3~0.4mL<200~300mL>/m² ・ 土壌処理(全面) <p>反復処理(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期 雑草発生前 ・ 0.2mL<200~300mL>/m² (散布間隔は1ヶ月を目安とする) ・ 土壌処理(全面) <p>[秋冬作; (ベントグラス) スズメノカタビラ]</p> <p>単用処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期 雑草発生前~発生初期 ・ 0.3~0.4mL<200~300mL>/m² ・ 土壌処理(全面) <p>反復処理(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期 雑草発生前~発生初期 ・ 0.2mL<200~300mL>/m² (散布間隔は1ヶ月を目安とする) ・ 土壌処理(全面) <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベントグラスに対して葉が黒ずむ場合がある <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬量0.3~0.4mLおよび0.2mL×2回, 水量600mL/m² 処理での年次変動の確認(コウライシバ) ・ 薬量0.3~0.4mLおよび0.2mL×2回, 水量600mL/m² 処理での効果葉害の確認(ケンタッキーブルーグラス) ・ 発生初期処理での効果, 葉害の確認(コウライシバ, ケンタッキーブルーグラス) ・ 連用試験での確認(コウライシバ, ベントグラス, ケンタッキーブルーグラス) ・ 実証試験での確認(コウライシバ, ケンタッキーブルーグラス) ・ 緑化木への影響の確認
	ケンタッキーブルーグラス	水量拡大 (雑草発生前/一年生イネ科/ケンタッキーブルーグラス)		
12. SG-109 顆粒水和 フルミオキサジン:50% [*住友化学, レインボー薬品]	コウライシバ	適用性の検討 (芝生育休止期/一年生雑草/コウライシバ)	実・継 (従来どおり)	<p>実)</p> <p>[秋冬作; (コウライシバ, ノシバ) 一年生雑草, 多年生広葉雑草]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期(生育休止期), 雑草生育期(但しスズメノカタビラは発生初期) ・ 0.08~0.12g<100~200mL>/m² ・ 茎葉兼土壌処理(全面) <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「芝生育期(生育休止期)」とは, 茎葉の一部に緑色が残っていても, 生育の停滞している時期を指す <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生育期(生育休止期), 雑草発生初期処理の薬量0.004~0.005g<100~200mL>/m²での効果・葉害の確認(コウライシバ, ノシバ) ・ スズメノカタビラに対する葉齢限界の確認 ・ 連用試験での確認(年1回2年間)(コウライシバ, ノシバ) ・ 実証試験での確認(コウライシバ, ノシバ) ・ 緑化木への影響の確認
	ノシバ	適用性の検討 (芝生育休止期/一年生雑草/ノシバ)		